

保育の課題に取り組もう! ② 発達の個人差を大事にした保育って?

年 組 番 名前 _____

教員記入欄

(教科書 p.50)

Q

あなたが保育者なら、子どもたちが触れ合うためのきっかけづくりの例として、どの方法を選ぶ？
選んだ理由も答えてみよう。また、そのときにどんな言葉をかけるかも考えてみよう。

評価の観点 思考・判断・表現

評価の観点 主体的に学習に取り組む態度

(1) 保育実習中、佳奈は、3歳児クラスの子どもたちと歌に合わせて踊っていた。芽依ちゃんは、その様子を離れたところから見ていたが、佳奈がほかの子どもたちの輪に誘ったところ、泣いてしまった。その背景を考えてみよう。

①教科書p.50の会話を読み、芽依ちゃんの心身の発達や登場人物の心情について想像しながら、空欄を埋めよう。

②運動機能や言葉の発達の進み方などが、子ども一人ひとり異なることをなんというか答えよう。

芽依ちゃんの心身の発達、その場の状況について

・芽依ちゃんは、ほかの3歳児より が低いため、
思いを で表現することは得意でなく、輪に入
りたくても自信がなく、自分からは言えなかったようだ。

・佳奈は、芽依ちゃんがぼつんとしてこちらを見ていたので、

と思い、積極的に誘った。(↑あなたの考えを書こう)

③佳奈が誘ったとき、芽依ちゃんはどのような気持ち
になったのか想像してみよう。

(2) あなたが佳奈の立場だったら、芽依ちゃんとほかの子どもたちが触れ合うきっかけをつくるために、どのようなかわり方をするだろうか。考えてみよう。

①ほかの子どもたちと触れ合うきっかけをつくるため、
あなたが最もよいと考える方法を次から一つ選ぼう。

- ① () 子どもたちに保育者が声をかけ、芽依ちゃんの思いに気づくよう仲立ちする
- ② () 保育者が芽依ちゃんに寄り添い、みんなの輪にいっしょに加わる
- ③ () その他

②あなたが①の方法を選んだ理由を書こう。

③あなたが①の方法を選ぶ場合、ほかの子どもたちにどのような言葉をかけるのが適切か、考えてみよう。

その他記入欄

(3) 今回の事例に取り組んで、心身の発達の様子がそれぞれ異なる子どもにかかわるとき、どのようなことに気がつくことが大切か、あなたが考えたことを書こう。